

事務事業名		水道施設災害復旧事業			☒ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間	
	施策名	良好な生活空間の創造				
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備			単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成23 年度 ～ 平成30 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	根拠法令	大船渡市水道事業の設置等に関する条例				
所 属	部課名	水道事業所			予算科目 会計 款 項 目 事業 水道 01 01 02	
	課長名	中井 吉隆				
	係 名	工務給水係	電話	0192-27-3111		
	担当者	佐藤 悦夫	内線	176		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本事業は、東日本大震災の被災地域における配水管等の復旧、土地区画整理事業や道路高上げ等に伴う配水管の布設替え事業及び防災集団移転地域への配水管の布設事業である。 事業費は、工事請負費、調査設計業務委託料などに支出される。 なお、本事業は大船渡市復興計画登載事業である。						
全体計画(※期間限定複数年度のみ)					総投入量 (千円)	
国庫支出金 2,785,317 都道府県支出金 地方債 500 その他 818,924 一般財源 171,086 事業費計 (A) 3,775,827 正規職員従事人数 5 延べ業務時間 24,000 人件費計 (B) 96,000 トータルコスト(A)+(B) 3,871,827						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

防災集団移転に伴う配水管布設工事 1件

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

土地区画整理事業区域内の調査設計及び配水管布設替工事
防災集団移転促進事業に係る調査設計及び配水管布設工事

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

土地区画整理事業区域及び防災集団移転促進事業施行区域使の水道施設

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

配水管等の復旧及び布設替え並びに配水管等の水道施設を整備し、水道水を供給する。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全な水道水が安定して供給される。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 配水管等布設替延長	m
イ 配水管等新設延長	m
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 土地区画整理事業他復興関連配水管布設替延長	m
キ 防災集団移転促進事業関連配水管等新設延長	m
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 配水管等整備率(ア/カ)	%
シ 配水管等整備率(イ/キ)	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円	31,515	122,556		522,317	643,994	618,482
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円	500					
		その他	千 円	12,982	14,180	22,342	265,477	159,203	88,535
		一般財源	千 円	10,123	10,113		29,944	36,920	35,458
		事業費計 (A)	千 円	55,120	146,849	22,342	817,738	840,117	742,475
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時 間	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		人件費計 (B)	千 円	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	67,120	158,849	34,342	829,738	852,117	754,475
⑤活動指標	ア	m		30	713	0	4900	6900	9900
	イ	m		0	0	259	2575	3145	890
	ウ								
⑥対象指標	カ	m		30	713	0	4900	6900	9900
	キ	m		0	0	259	2,575	3,145	890
	ク								
⑦成果指標	サ	%		100	100	0	100	100	100
	シ	%		0	0	100	100	100	100
	ス								

事務事業ID	1614	事務事業名	水道施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
東日本大震災により水道施設が被災し当該施設の復旧並びに新たな住宅用地等の確保のため、土地区画整理事業及び防災集団移転促進事業が必要となったことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
土地区画整理事業施行区域においては、配水管の布設にあたり、同地区内には水道使用者がいるため、仮設管を施工し給水を持続しながらの工事が必要であり、また、既設管の撤去も求められているが、同事業の具体的な工事工程が未定のため、仮設管を含めた配水管の設計及び既設管撤去の計画ができない状況にある。
道路高上げ等の計画については、他事業との調整が未了のため、施行には時間を要する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
土地区画整理事業及び防災集団移転促進事業の工事工程に対応した、施設設計及び水道施設の施工が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 水道施設の整備を実施することにより、市民に安全な水道水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 水道事業は公営企業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 被災地区の復興計画に係る配水管等の布設替え並びに配水管等の水道施設を整備するものとして適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 土地区画整理事業等他の事業の実施に併せて配水管路等の整備をするため、成果の向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 水道水の供給ができなくなり、住民生活、再建に大きな支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現状では他の手段は考えられない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備後の維持管理を含め、管種、管径、機器等の選定をすることから、事業費の削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現状から、人件費削減は困難である、
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 最終的には水道料金に転嫁されることから適切である。

事務事業ID	1614	事務事業名	水道施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	東日本大震災により被害を受けた水道施設の本復旧を最優先に実施し、これにより通水している配水管の復旧率は100%となった。 今後は、土地区画整理事業等に伴う配水管の布設替えや防災集団移転地域における配水管等の布設を計画的に実施していく必要がある。																		
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 計画的な事業執行に努める。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持		●	×															
	低下		×	×															
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																			
土地区画整理事業や一部の防災集団移転事業においては、具体的な工事工程が未定のため、仮設管を含めた配水管の設計及び既設管の撤去の計画ができない状況にあり、本事業の進捗に遅れが生じる懸念がある。																			

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水道事業所長	中井 吉隆
-------	--------	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																			
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																			
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																	
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	震災により被災した水道施設の本復旧を最優先に実施し、通水している配水管の復旧率は100%となっている。																		
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後は、他部署所管の復興事業との調整を図りながら配水管の布設等を計画的に実施していく必要がある。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持		●	×															
	低下		×	×															

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
